

上野幌・青葉地域 **南側部会 ニュース**

上野幌・青葉地域小規模校検討委員会はこれまで地域の4つの小学校を対象に検討してきました。2016年9月からは議論を深めるために、北側部会（上野幌小学校・青葉小学校）と南側部会（上野幌西小学校・上野幌東小学校）に分かれて検討しています。このニュースについても、部会ごとに発行します。

～このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています～

**第2回南側部会  
について**

11月18日（金）午前10時から、上野幌東小学校で第2回南側部会を開催し、通学安全及び校名の検討方法について協議を行いました。

**報告事項  
個別に寄せられた  
意見**

第1回の部会以降、電話で1件ご意見が事務局に寄せられており、その報告がありました。

- 子どもが環境に適応するスピードはとても速いと思う。子どもにはクラス替えができる環境で学んでほしいので、一刻も早く新しい学校が開校することを望んでいる。
  - 児童数が多くなり不審者の数も少なくなると思う一方で、校区が広がることで、見守り体制が大切になると思うので、しっかり検討してほしい。
- （平成28年9月 電話）

**手交式の概要**

上野幌・青葉地域（南側地区）では、これまでの検討内容を取りまとめ、平成28年10月5日に部会代表である吉岡委員から、教育委員会の長岡教育長へ意見書を提出しました。

**意見書の概要**

- ◇上野幌西小学校と上野幌東小学校を再編し、新設校を設置すること。
- ◇新設校は、既存の上野幌東小学校の施設を活用すること。
- ◇新設校の開校時期は平成31年4月とすること。
- ◇新設校の名称については、引き続き検討し、別途意見書を提出する。
- ◇両校の児童が新たな気持ちで新設校に通学できるよう、必要な学校施設の整備等十分に配慮すること。
- ◇上野幌西小学校の跡活用については、地域の意見を十分に聞きながら、この地域が子育てしやすく誰もが安心して暮らせるまちになるよう、地域の活性化に資する活用方法を検討すること。



意見書を手渡す吉岡部会代表（右）  
受け取る長岡教育長（左）

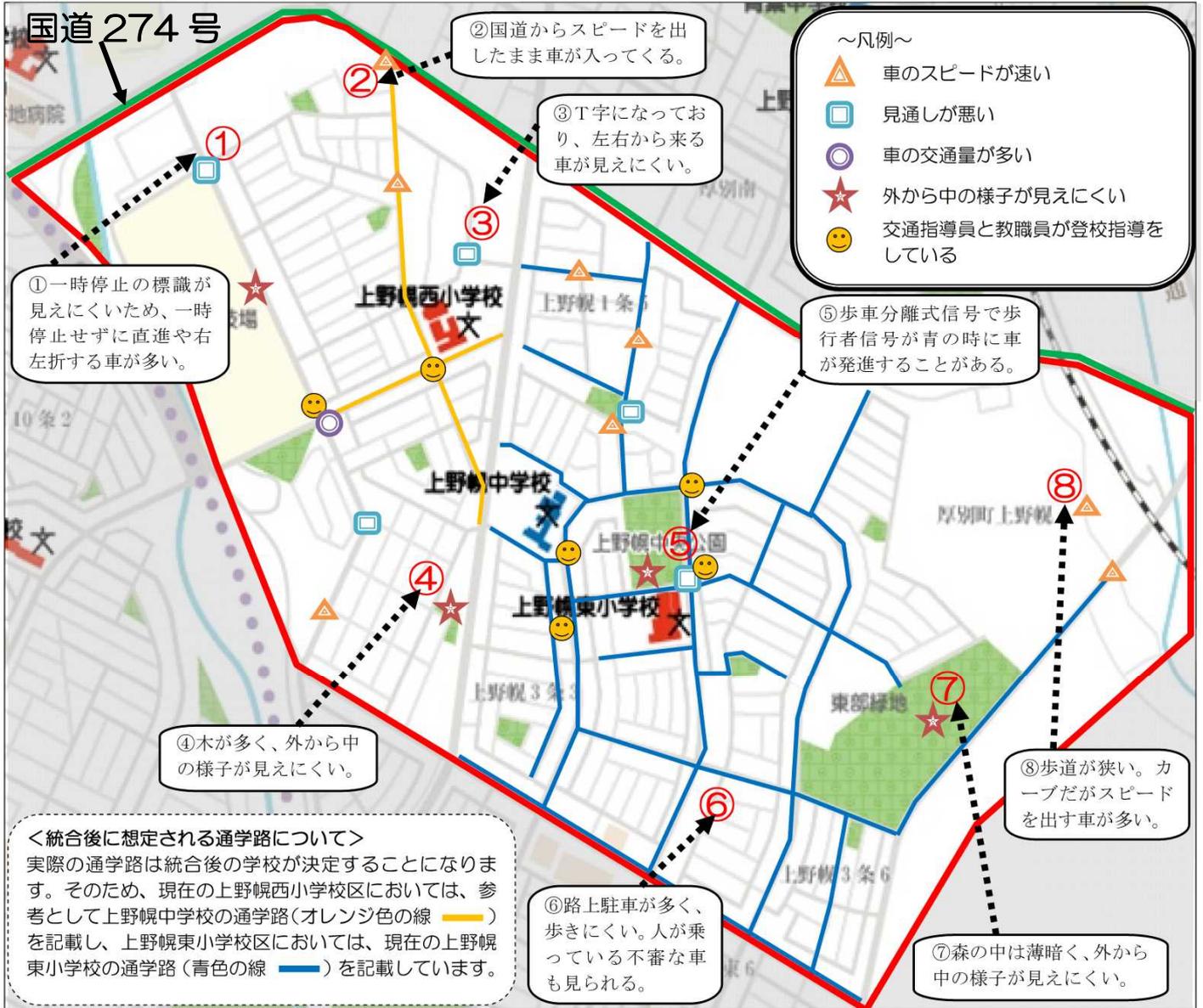
※意見書の内容は、平成28年10月18日の第23回教育委員会会議で報告され、意見書の内容を最大限尊重のうえ取組を進める旨が確認されています。

# 検討事項

下記の検討事項について、協議を行いました。

## 通学安全について

事務局から提示された下記の地図を参考にしながら、危険箇所や通学路について検討しました。



事務局から今後の通学安全に関する検討方法に関して提案がありました。

### ＜提案＞ ～両校のスクールゾーン実行委員会を活用してはどうか～

#### スクールゾーン実行委員会

- ・ P T A
- ・ 町内会長
- ・ 学校
- ・ 交通安全指導員
- ・ スクールガードリーダー
- ・ 区役所
- ・ 警察
- 等

#### ＜活用するメリット＞

- ◇町内会長や警察、交通安全指導員等がいるので、通学安全に関する詳細な検討が可能
- ◇部会と実行委員会の委員を兼務されている方もおり、情報交換しながらの検討が可能

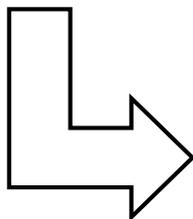
両校のスクールゾーン実行委員会を活用し、統合するまでに危険箇所を把握し、想定される通学路や見守りの体制を整理する。

## 校名の検討方法について

もみじ台地域の検討の流れを参考に、校名の検討方法について話し合いを行いました。

### 検討方法(もみじ台地域の例)

## 公募



### 公募方法

公募対象	児童、保護者、地域住民
応募方法	氏名と住所を記載 ※「対象となる4校を含め、市内にある学校名をそのまま使うことができない」旨を備考欄に記載
募集期間	1か月程度
応募総数と検討の流れ	応募総数 <u>324件</u> (児童 237件、保護者 60件、地域 27件) ↓ 各検討委員から推薦( <u>29件</u> ) ↓ 検討委員会で候補を絞込( <u>6件</u> ) ↓ 最終案を決定(2件)[もみじの森小学校、もみじの丘小学校]

## 委員からの意見

各委員から主に以下のようなご意見がありました。

### ■通学安全

- 地図の②付近から上野幌西小学校に向かう道路の東側歩道は、冬は積雪で歩道の確保が困難となっている。夏でも通りにくい。
- 2校が統合することにより通学路が変わるので、信号機や横断歩道の設置が必要な個所を改めて点検し、要望をしてはどうか。
- 道内で新しい信号機が設置されるのは年1、2機という話を聞いたことがある。統合というきっかけがあるとしても、設置は相当難しいのではないか。
- 交通指導員が高齢化し、後継者もいない。特定の人に固定化すると負担が大きいため、地域での持ち回りなども検討する必要があるのではないか。
- 統合後の学校でもスクールゾーン実行委員会などで通学安全の話をすると思うが、その前に、両校のスクールゾーン実行委員会で通学安全の土台作りをしておけば、統合後スムーズに通学できるのではないか。

### ■校名の検討方法

- 公募方式がいいと思うが、多数決ではなく、校名の理由などそこに込められた思いも踏まえた上で候補を絞り込み、この部会で決定してはどうか。
- 多くの子どもたちや保護者、地域にお住まいの方が意見を表明する機会を確保するためにも、公募方式がいいのではないか。

- 公募で決めるとすれば、その後の絞り込みの方法についても、この部会で考える必要があるのではないか。

## ■その他

- 統合校の開校までに、保護者や地域でしなければいけないことを情報提供してほしい。
- 跡活用の検討はどのように行うのか。

(事務局回答)

跡活用の検討は、部会だけですべて行うものではありませんので、まちづくりに関係する部局等と連携しながら、検討する会議体や検討方法も含めて協議するものと考えております。

## 決定事項

第2回の部会では、通学安全と校名の検討方法について、以下のことを決定しました。

- ・今後、通学路や通学安全の詳細な検討は、両小学校のスクールゾーン実行委員会を活用して行う。
- ・新設校の校名案は「公募」する。次回の部会で公募の対象者、募集期間等の公募方法について、検討を行う。

## 説明会の開催

教育委員会では、下記の日程で説明会を開催いたします。ぜひご参加ください。

### 【概要】

◇日時 平成28年12月18日(日曜日)

①午前10時から 上野幌西小学校 2階多目的室

②午後2時から 上野幌東小学校 2階音楽室

◇内容 これまでの検討経緯、今後のスケジュール等について (①と②は同じ内容です。)

※両校の保護者や校区にお住まいの方には、既に案内を配布、回覧しております。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

## 第3回の部会について

第3回の部会は、新設校の校名の公募方法等を議題に平成29年2月頃の開催を予定しています。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せください ■

### 上野幌・青葉地域 小規模校検討委員会 事務局

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課 (学校規模適正化担当)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル

T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837

E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ 検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>